

Interim Report 2017

第97期 中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 期末配当金3月31日
 中間配当金9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成30年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成30年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第97期中間報告書をお届けするに際しまして、この間の営業の概況についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の改善、良好な雇用環境が続き、緩やかな回復基調を維持しましたが、北朝鮮情勢や米国の政策動向、欧州の政治リスクなど海外経済の懸念材料により先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高161億24百万円（前年同四半期比11.9%減）、営業損失92百万円（前年同四半期は営業利益9億99百万円）、経常損失50百万円（前年同四半期は経常利益10億58百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同四半期比90.1%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

情報・印刷・産業システム機材

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、文書のデジタル化事業において大口案件の減少などの影響により低調に推移いたしました。

印刷システム機材は、予想以上の印刷需要の低迷と販売単価の下落、競合激化などの影響により、印刷機器・材料の販売ともに落ち込みました。また、販売減に伴い収益性も低下いたしました。

金融汎用・選挙システム機材

金融汎用システム機材は、金融機関や流通業における貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響を受け低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、7月の東京都議会選挙をはじめ地方選挙向けに機器や投開票システム等の販売が好調だったほか、9月の衆議院解散により同選挙向け投票用紙を中心とした機材の販売が上乘せとなり大幅に伸びました。

紙・紙加工品

紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸びましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受け、若干低調に推移いたしました。

不動産賃貸・リース事業等

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

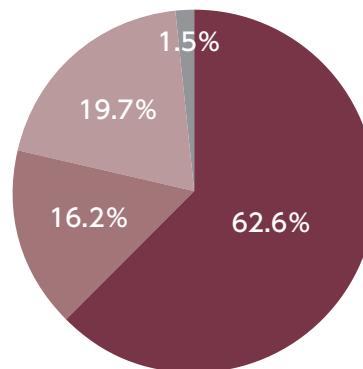
代表取締役社長 羽鳥雅孝



連結経営成績

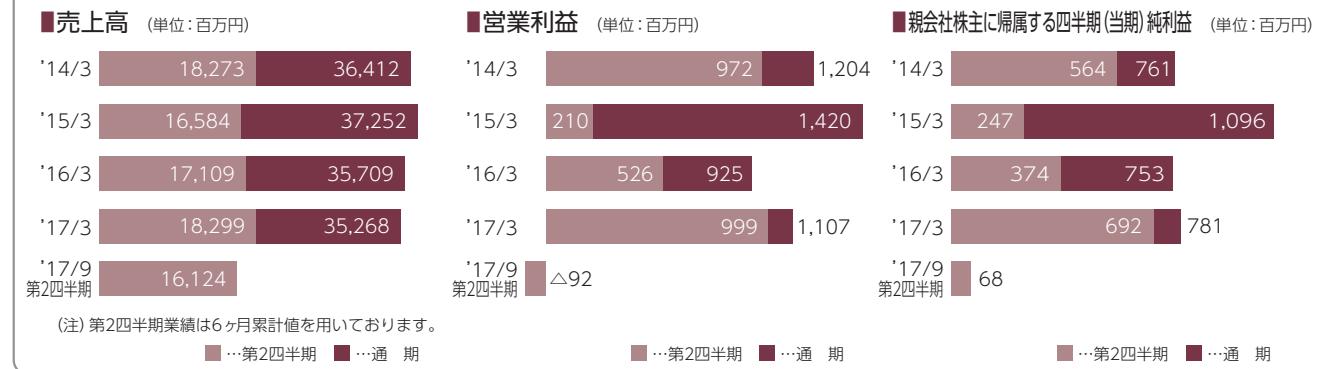
売上高	161億24百万円	(前年同四半期比 11.9%減)
営業損失	92百万円	(前年同四半期比 -)
経常損失	50百万円	(前年同四半期比 -)
親会社株主に帰属する四半期純利益	68百万円	(前年同四半期比 90.1%減)

セグメント別売上高構成比



情報・印刷・産業システム機材	62.6%	紙・紙加工品	19.7%
売上高	101億78百万円	売上高	32億6百万円
営業損失	1億56百万円	営業損失	8百万円
金融汎用・選挙システム機材	16.2%	不動産賃貸・リース事業等	1.5%
売上高	26億41百万円	売上高	2億44百万円
営業利益	1百万円	営業利益	69百万円

経営成績の推移



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	32,697	31,541
2 固定資産	10,295	9,641
有形固定資産	3,257	3,290
無形固定資産	525	137
投資その他の資産	6,513	6,213
資産合計	42,993	41,183
負債の部		
3 流動負債	13,774	12,023
4 固定負債	2,427	2,298
負債合計	16,201	14,322
純資産の部		
株主資本	26,297	26,378
その他の包括利益累計額	493	481
5 純資産合計	26,791	26,860
負債・純資産合計	42,993	41,183

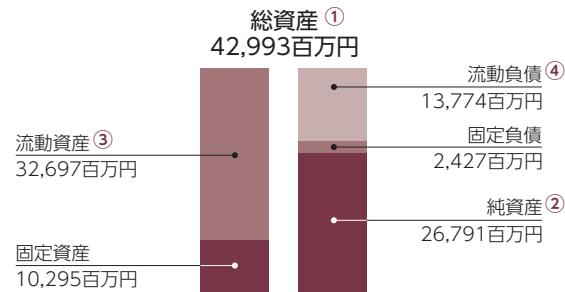
四半期末資産・負債の状況

自己資本比率(財務の健全性)
= ② ÷ ① × 100

62.3%

流動比率(短期の支払能力)
= ③ ÷ ④ × 100

237.4%



貸借対照表のポイント

資産

1 流動資産

■増加の主要因

- 受取手形及び売掛金の増加(23億25百万円)
- 棚卸資産の増加(9億25百万円)

■減少の主要因

- 現金及び預金の減少(22億20百万円)

2 固定資産

■増加の主要因

- 連結範囲の変更に伴うのれんの増加(3億91百万円)
- 投資その他の資産の「その他」の増加(3億36百万円)

負債

3 流動負債

■増加の主要因

- 支払手形及び買掛金の増加(19億26百万円)

■減少の主要因

- 未払法人税等の減少(1億94百万円)

4 固定負債

■増加の主要因

- 固定負債の「その他」の増加(1億円)

純資産

5 純資産

■増加の要因

- 親会社株主に帰属する当期純利益(68百万円)
- その他包括利益の増加(11百万円)

■減少の要因

- 剰余金の配当(1億48百万円)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
売上高	16,124	18,299
売上原価	12,986	14,116
売上総利益	3,138	4,183
販売費及び一般管理費	3,231	3,183
営業利益(△は損失)	△92	999
営業外収益	72	80
営業外費用	29	20
経常利益(△は損失)	△50	1,058
特別利益	180	-
特別損失	-	7
税金等調整前四半期純利益	130	1,051
法人税、住民税及び事業税	103	427
法人税等調整額	△41	△69
四半期純利益	68	692
親会社株主に帰属する四半期純利益	68	692

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	△220	2,455
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,952	△230
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△148	△74
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△2
現金及び現金同等物の増減額	△2,320	2,148
現金及び現金同等物の期首残高	18,725	16,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,404	18,912

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



IR情報 トップページ

業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧ください。最新の株価などもご確認いただけます。



より使いやすいサイトを目指してまいります。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

■収入の主要因

- 税金等調整前四半期純利益 1億30百万円
- 減価償却費 1億47百万円
- たな卸資産の減少 1億円
- 仕入債務の増加 1億36百万円

■支出の主要因

- 投資有価証券売却益 1億80百万円
- 売上債権の増加 2億58百万円
- その他の流動負債の減少 1億61百万円
- 法人税等の支払額 1億87百万円

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

■収入の主要因

- 投資有価証券の売却による収入 2億95百万円

■支出の主要因

- 定期預金の預入・払戻(純額)による支出 1億円
- 固定資産の取得等による支出 1億8百万円
- 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 19億68百万円

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

■支出の主要因

- 配当金の支払 1億48百万円

突然の衆議院選挙に即時対応 ～2017.10.22 第48回衆議院総選挙～



投票用紙を候補者別に仕分ける読取分類機



投票用紙を高速で数える計数機



投票用紙を正確に交付する交付機

9月に衆議院が解散され10月22日に衆議院選挙が実施されました。これにより当社の投票用紙読取分類機や計数機、交付機、開く投票用紙や投票箱など関連機材が全国で数多く導入されました。

特に今回の選挙では、期日前投票所の利用者が増え、投開票日前に投票を済ませた人が全国で2千万人以上に達しました。これに対し各自治体は、期日前投票所の充実を図っているため、投票所向け機材の需要が拡大しています。

これからもムサシは、投開票業務の効率化をサポートする機器やサービスの開発に取り組み、正確で迅速な業務の実現とコスト削減に貢献してまいります。

会社概要 (2017年9月30日現在)
CORPORATE DATA

商号	株式会社ムサシ
設立	1946年12月
本社	東京都中央区銀座八丁目20番36号
資本金	1,208,500,000円
従業員数	連結592名/単体225名
主要取引銀行	(株)みずほ銀行 (株)三井住友銀行 (株)三菱東京UFJ銀行
関係会社	ムサシ・フィールド・サポート(株) 武蔵エンジニアリング(株) (株)ムサシ・エービーシー ムサシ・イメージ情報(株) ムサシ・アイ・テクノ(株) エフ・ビー・エム(株) 武蔵興産(株) (株)武蔵エンタープライズ エム・ビー・エス(株) (株)ジェイ・アイ・エム

役員	代表取締役名誉会長	都木 恒夫
	代表取締役会長	小林 厚一
	代表取締役社長	羽鳥 雅孝
	専務取締役	佐々木 淳
	常務取締役	村田 進
	常務取締役	山村 隆
	取締役	浅川 正仁
	取締役	新妻 一俊
	取締役	廻 真一郎
	取締役	栃木 真司
	取締役	小林 佳典
	取締役	小野 貢市
	取締役	五島 真一
	社外取締役	高原 巨章
	常勤監査役	中川 裕務
	常勤監査役	桑原 弘順
	社外監査役	安藤 信彦
	社外監査役	浅野 修一

株式の状況 (2017年9月30日現在)
STOCK INFORMATION

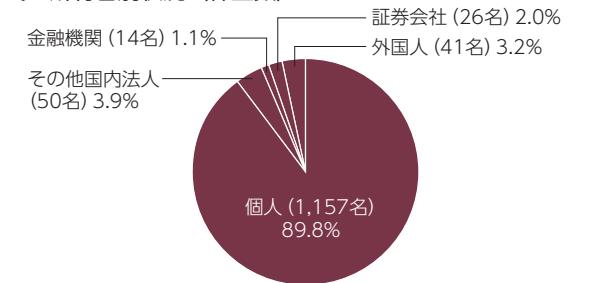
- 発行可能株式総数…………… 28,920,000株
- 発行済株式の総数…………… 7,950,000株
- 株主数…………… 1,288名

●大株主

株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7 %
ショウリン商事株式会社	897	12.1
ムサシ社員持株会	475	6.4
株式会社みずほ銀行	360	4.8
MSCO CUSTOMER SECURITIES	349	4.7
ムサシ互助会	299	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	294	4.0
小林厚一	237	3.2
株式会社三井住友銀行	190	2.6
羽鳥雅孝	137	1.8

(注)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
当社は自己株式506千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の所有者別状況 (株主数)



●株式の所有株数別状況 (株主数)

